

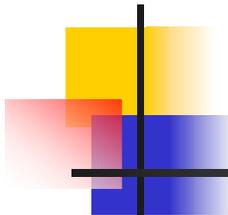
第6回講義資料(1)

- 適当なデータ(50個以上)を用いて, 相加平均, 2乗平均平方根, 標準偏差, 偏差値を求める
- x_i ($i = 1, \dots, n$) は与えられたデータ列とする
- 相加平均は以下の式で求められる

$$\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$$

- 2乗平均平方根は以下の式で求められる

$$x_{rms} = \sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i^2} = \sqrt{\frac{x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_n^2}{n}}$$



第6回講義資料(2)

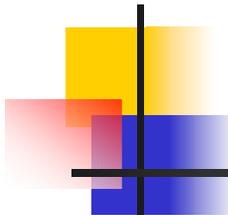
- 標準偏差は以下の式で求められる

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}$$

- 偏差値は以下の式で求められる

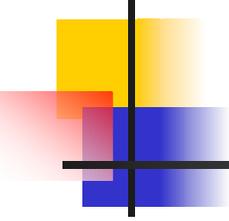
$$S_s = \frac{(x_i - \bar{x}) \times 10}{\sigma} + 50$$

- グラフは各自で、自分の使用したデータの特徴を良く示す好みのものを選択し作成する
- レポートは6月2(月)13:00までに担当教員4名にe-mailの添付ファイルとして提出する



第6回講義資料(3)

- 利用すると便利な関数に、`sum()`、`count()`、`rand()`などがある。
- `sum()`は、指定した範囲の数値を全部足す関数。
- `count()`は、指定した範囲を数えてくれる関数。
- `rand()`は、ランダムな値を自動で作成してくれる関数。
- その他にも便利な関数があるので、Help等で使用方法を調べてみると良い。



課題3 レポートの提出について

- グラフは各自で、自分の使用したデータの特徴を良く示す好みのものを選択し作成する
- 「課題3」レポートは6月2(月)13:00までに担当教員4名にe-mailの添付ファイルとして提出する
- ファイル名は“3-08220??-姓名”(課題番号-学籍番号-姓名)とする
- e-mailを送信する際の件名も“3-08220??-姓名”とする
- “3-08220??-”の部分は半角で入力する
- “姓名”の部分は全角で入力する